平成 25 年 2月 8日

各　　位

会 社 名　天馬株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　吉田 長幸
（コード：7958、東証第一部）
問 合 せ 先　常務取締役常務執行役員 堀 隆義
（TEL. 03－3598－5515）

平成25年3月期 通期業績予想の修正及び第3四半期投資有価証券評価損の戻入れに関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成24年11月９日に公表いたしました平成25年３月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、平成25年３月期第３四半期会計期間（平成24年10月１日から平成24年12月31日まで）において投資有価証券の戻入れが発生いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

（1）平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成24年4月1日 ～ 平成25年3月31日）　（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	22,500	1,600	△ 700	△ 25 円 83 銭
今回修正予想(B)	22,500	1,450	△ 500	△ 18 円 45 銭
増減額(B－A)	0	△ 150	200	
増減率（%）	0	△ 9.4	―	
（ご参考）前期実績（平成24年3月期）	22,416	1,643	1,331	△ 48 円 52 銭

（2）平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日 ～ 平成25年3月31日）　（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	60,000	2,700	3,000	600	22 円 14 銭
今回修正予想(B)	59,000	2,750	3,850	1,850	68 円 27 銭
増減額(B－A)	△ 1,000	50	850	1,250	
増減率（%）	△ 1.7	1.9	28.3	208.3	
（ご参考）前期実績（平成24年3月期）	58,493	2,392	2,643	1,818	66 円 25 銭

（3）理由

個別の通期事業年度につきましては、子会社における投資計画を勘案し手元資金を厚くさせる為、子会社からの配当金を当初予定より抑えること等により、経常利益は前回発表の予想を下回る見込みとなります。また、当期純利益は第2四半期に発生した投資有価証券評価損が、第3四半期には一部戻入れが発生し、そのままの形で通期事業年度末にも残存すると仮定しますと前回予想を上回る見込みとなります。

連結の通期会計年度につきましては、売上高は欧州を中心とする世界経済の減速により前回予想を下回る見込みとなりますが、原価低減、経費削減等により営業利益は前回予想を上回る見込みとなります。経常利益及び当期純利益は円高修正による為替差益、天馬皇冠精密工業（蘇州）有限公司に対する蘇州市当局からの産業支援金等により、それぞれ前回予想を上回る見込みとなります。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 投資有価証券評価損の戻入れ

当社は、平成25年3月期第2四半期において投資有価証券評価損を計上いたしましたが、平成25年3月期第3四半期において投資有価証券評価損の戻入れが発生することとなりました。

なお、四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替え法を採用しているため、平成25年3月決算期末の時価により、特別損失の計上額が変動する場合、若しくは特別損失を計上しない場合があります。

平成25年3月期第3四半期における投資有価証券評価損

平成25年3月期第3四半期会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）の投資有価証券評価損の総額 （＝A－B）	△324百万円 （△：戻入益）
(A) 平成25年3月期第3四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）の投資有価証券評価損の総額	1,758百万円
(B) 直前四半期（平成25年3月期第2四半期）累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の投資有価証券評価損の総額	2,082百万円

※ 四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※ 当社の決算期末は、3月31日です。

以上